

佐倉バス旅行案内

1. 日時 2013年2月28日(木) 7:45~18:00

7:45 所沢駅東口 りそな銀行前集合

8:00 出発 18:00 帰着予定

2. 見学場所

見学先は下記の通りです。

①□ 国立歴史民俗博物館(歴博) (10:30~12:00)

歴史・民族・考古の3分野にわたり展示している大きな博物館で、5つの展示室(第4展示室はリニューアル中で見られません)があつて時間がいくらあつても足りない気がします。次の佐倉城址と合わせて2時間の見学時間を予定しています。

②佐倉城址 (12:00~12:30)

佐倉城は櫓などの建築物は残っていませんが、土塁と空堀が歴史を伝えてくれます。

③昼食(川瀬屋) 昼食時間は45分、飲み物は自費です。(12:40~13:25)

とろろ膳を予約していますので、とろろが食べられない方は事前に申し出て下さい。

④佐倉順天堂記念館 (13:30~13:45)

順天堂は天保14年(1843)医学塾兼診療所として建てられたもので、後の順天堂大学へとつながって行きます。中には、当時の手術道具も展示しており、帝王切開や包茎手術の費用も書かれていますよ。

⑤武家屋敷(旧河原家住宅・旧但馬家住宅・旧武居家住宅) (13:55~14:45)

三軒の武家屋敷が鏑木小路に移築復元されています。大屋敷、中屋敷、小屋敷と3種類の武家屋敷が見られます。

⑥旧堀田邸(国指定重要文化財) (14:55~15:30)

明治23年に建てられた、明治時代に佐倉に移り住んだ最後の佐倉藩主堀田正倫(まさとも)の邸宅と芝生が美しい明治様式の庭園です。住居部の玄関棟・座敷棟・居間棟・書斎棟・湯殿および土蔵、門番所の7棟が、国の重要文化財。

3. 費用

・3,500円(食事代、入場料を含みます。)

・費用は当日お支払い下さい。

4. 連絡先

行けなくなった場合、途中ではぐれた場合等の連絡先

居田 治 090-6515-5918

山本 直 080-3420-4829

5. お願い

バス等の集合時間には遅れないようにお願いします。

以上

歴史を楽しむ野老会

参考資料

歴史民俗博物館から駐車場までの道



歴史民族博物館を出て本丸跡を回るのは12時には歴史民族博物館を出て下さい。

12時30分集合

佐倉城

佐倉城は印旛沼へ注ぐ鹿島川、高崎川を外堀とし、台地上に土塁を加えて築城した平山城で、石垣を用いていない。戦国時代の中頃に鹿島山城とも呼ばれたが徳川家康がその要害に着目し、江戸の東の守りとして土井利勝*¹に命じて慶長15年(1610)から現在の佐倉城を築城した。城は明治になって軍の施設が置かれ、城の施設はことごとく壊された。

徳川幕府では佐倉城に代々老中格の譜代を封じた。老中となった城主は、土井利勝、堀田正信*²、大久保忠朝、戸田忠昌、稲葉正往、松平乗邑、堀田正亮、堀田正睦*³がいる。延享3年(1746)堀田正亮以降は6代の堀田氏が幕末まで126年間、11万石を領有した。最後藩主の堀田正倫*⁴が、維新後東京から佐倉に移り住んだ邸宅が旧堀田邸。

*1 土井利勝：土井利勝は、幼少の時から家康に仕え、秀忠の守り役となる。秀忠が將軍職を家光に譲った時(1623)には「天下とともに土井利勝を譲る」と言ったという。彼は古河に移った直後に大老に就任している。また、家康の落胤であるとも言われている。

*2 堀田正信と惣五郎：堀田正信の過酷な年貢にあえぐ佐倉の名主たちは木内(佐倉)惣五郎を代表として江戸藩邸に直訴し、更に4代將軍家綱の寛永寺参詣の折に直訴した。承

応2年（1653）のことである。その結果、惣五郎と妻子は断罪に処されたが、過重な年貢は軽減された。堀田正信にお咎めはなかったが、7年後に幕政を批判して乱心として改易された。義民惣五郎は現在の宗吾参道駅（京成本線）近くの宗吾霊堂に祀られている。この事件の真相は謎であるが義民惣五郎として芝居や講談で取り上げられた。

***3 堀田正睦**：幕末期の藩主となる正睦は英明な人物で老中首座水野忠邦（天保の改革を進めた）の推挙により31才で老中となったが、そのあまりにも窮屈な政策に次第に批判を抱くようになり罷免された。正睦は佐倉藩の改革に精力を注ぎ経済的な自立を図る一方学制改革にも着手した。洋学に力をいれ蘭学を奨励し「蘭癖」と呼ばれた。江戸で高名なオランダの医学者佐藤泰然を佐倉に迎え順天堂を作った。

嘉永6年（1853）ペリーが来航すると再び老中に復帰し、開国を主張し日米通商条約を締結した。しかし、勅許なしに調印した責任を問われ、また将軍継嗣問題で大老井伊直弼と対立したため老中を追われた。佐倉城址には堀田正睦とハリスの像がある。

一匹とは：絹物2反、銭の10文

佐倉順天堂の手術費用は100匹というように金額が「匹」で表されています。

1匹とは10文のことです。では10文とはどの位の価値があったでしょう。

山田紘一郎氏によれば米の値段を基準に考えると安政5年の1両は約23,400円で、1文は2.34円です。

それからすると100匹は2,340円ということになります。

佐倉マップ



以上